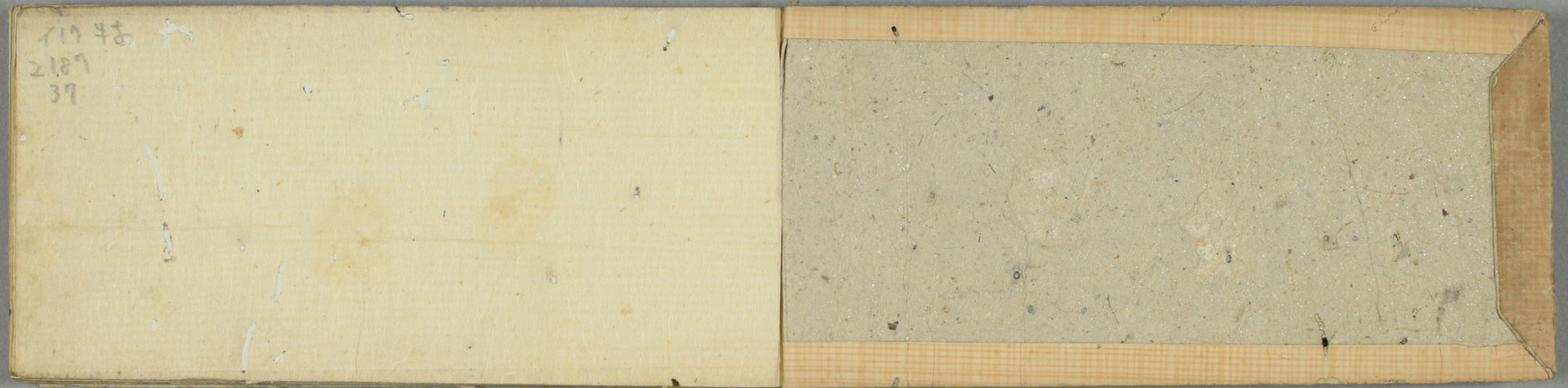




聞見備忘

服部文庫
イ 17
2187
37





117 号
2187
39



一 燒琴石

一 新粉

一 石印

一 烏賊

一 茫硝

右紙息一葉

四庫全書總目

卷首

聖諭表文職名凡例

卷一 六通經

易類

卷七 十通

易類存目

卷十 十二通

書類

卷十三 四

同存目

卷十四 五 六

詩類

卷十七 八

同存目

卷十九

禮類 月禮

卷二十一

同 禮記

卷二十三

禮類存目 儀禮

卷三十 儀禮

同 儀禮

卷三十二

同 三經通義

卷三十四 禮記

同 禮記

卷十五 禮類存目 三禮通義 通禮

卷二十六 卷二十九

卷三十 卷三十一

同存目

卷三十二

孝經類 同存目

卷三十三

五經總義類

卷三十四

同存目

卷三十五

四書類

卷三十六

同存目

卷三十七

同存目

卷三十八

同存目

卷三十九

小學類 刻法 同 字書

卷四十

同 初書 同存目 刻法 字書

卷四十一

同存目 初書

以上經部

卷四十五 史

正史類

卷四十六

同存目

卷四十七

同存目

編年類

卷四十八

同存目

卷四十九

同存目

卷五十

同存目

別史類

卷五十一 雜史類

卷五十一下 聖賢名入

同存目

卷五十五

詔令奏議類

卷五十六

同存目

卷五十七

傳記類

聖賢名入

仍錄上

卷五十八

同

仍錄下 雜錄

卷五十九

傳記類存目

聖賢名入

卷六十

同

卷六十一

同

卷六十二

史鈔類

同存目

卷六十六

載記類

同存目

卷六十七

時令類

同存目

卷六十八

地理類

六十九

仍志 都會郡縣 同 河渠 边防

卷七十

同

同 遊記外紀

卷七十一

同

同 遊記外紀

卷七十二

同

同 遊記外紀

職官類

官制 官箴

同存目

卷八十一

同

政事類

官制

同

典札邦計 軍政 法令 考五

卷八十三

同存目

典札 邦計 軍政 法令 考五

八十五 目錄類 同金石

八十七 同存目 卷之九

八十八 史評類 同存目

以上史部

九十一 子

儒家類

同存目 卷之九

兵家類

同存目 卷一百

法家類

同存目 卷一百

農家類

同存目

一百三十四 同存目

醫家類

卷一百六

天文算法類

推步

同 算書

同存目 算書

術數類

數子 日候

同 命書相書

陰陽五行

同存目

同存目 陰陽五行 雜技術

藝術類

書卷上

同存目

譜錄類

同存目

草木鳥獸蟲魚

卷一百三十六

同存目

一百三十七

雜家類 雜字

一百三十八

同 雜家上 同 雜家下

一百三十九

同 雜家上中下

一百四十

同 雜家 雜編

一百四十一

同存目 雜家上 雜家下 雜家上中下 雜家

一百四十二

類書類

一百四十三

同存目

一百四十四

同存目 雜家類 同存目

一百四十五

同 雜家類

一百四十六

同存目 雜家類

一百四十七

同存目 雜家類

一百四十八

同存目 雜家類

一百四十九

同存目

一百五十

同存目

以上子部

卷一百四十八

楚辭類 同存目 別集類

一百五十一

別集類

一百五十二

同存目

一百五十三

別集類

卷一百五十四

一十有定以解其信

此字也

海月山月以海石漱

雪云花子白样

长秋一海象法南

中帆直向带花

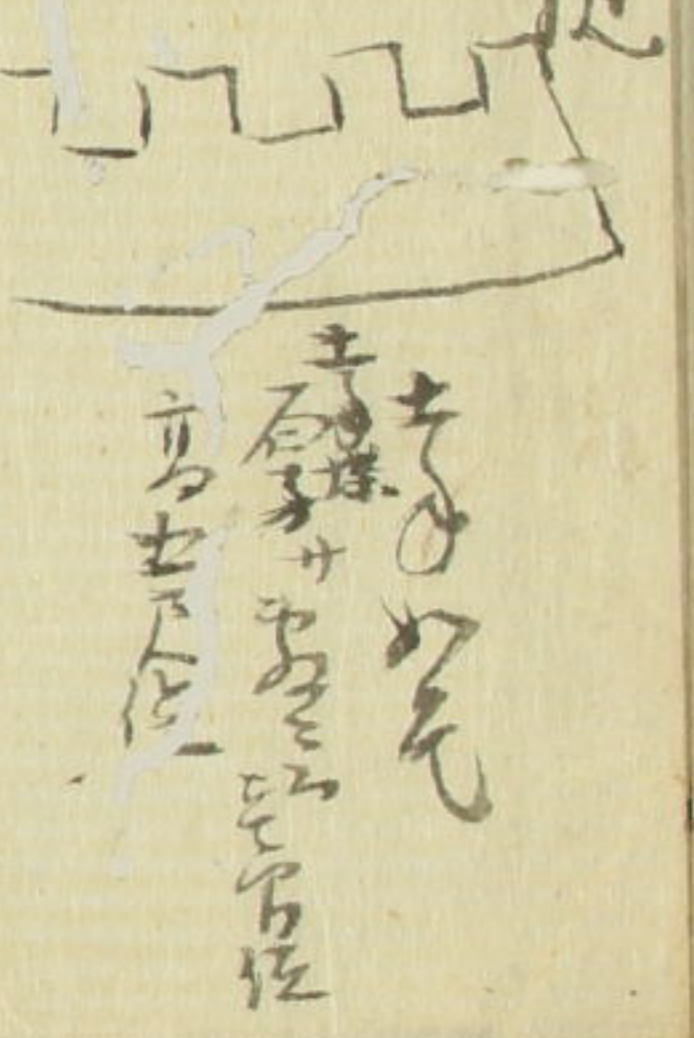
行同

果如大原山静主

海之修系四观何

常尔角山只古空

三



一 千四...
 一 寺...
 一 寺...

一 寺...
 一 寺...
 一 寺...

一 寺...
 一 寺...
 一 寺...

再

一 寺...
 一 寺...
 一 寺...

一 寺...
 一 寺...
 一 寺...

先づ船先の舟先
由是傳杉田中なる事
三ノノと船先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

舟先の舟先
舟先の舟先
舟先の舟先

船中日記

ブカシ

一アーダムス

一コンカー

一四りね 七をきね

乃らやあ仲

ナラチホリ仲じり

アガリきり東

ウタリ

アガリきり

ナラチホリ

アガリきり

アガリきり

アガリきり

アガリきり

アガリきり

山田

去

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

一三

原法はまじく、
長政の備、
高田の事と云ふは、
のりきり

一 孫平の如き、
のりきり

一 立名、
と云ふは、
のりきり

一 昔子、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

一 和政、
のりきり

梅と春の葉わさし
二五九

○  二五九

一 午の時の花をいふ
十門と花をいふ
海と又いふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 此の二首は
春の二首は
別々の意を
中にもいふ

一 理 副 役 任 務 書
右ハ アーダムス

船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

ホーランドの船

再遊

正倉院中の竹の仲吹

一死す者有る船アトシテ其下

軍舟と水夫と軍人船中と

書如き也自國文三葉文

命と交はして正倉院と

我々古き多岐阿ノ竹吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

正倉院中竹吹の仲吹

湯船 茶十三艘

野藪 筒 三艘

位十三
十八
位
照星七竹
筒切先如

大礫 九根

口徑七寸四分
長三尺六寸
ベキサ二一尺

余八根
二十四寸之位
長六尺之位
六尺五寸之位

長三十間余
中橋 廿五間余
上毛橋 十八間余

表揚
長三十間余
中橋 廿五間余
上毛橋 十八間余

彼理不快
九月舟
五子
葱
大根

九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

彼理不快
九月舟 十
五子 千
葱 七
大根 八

物々しき山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき

二月 紅くも山

一 去るる昔の山ありて
物々しき山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき

一 山ありて其の形も

一 山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき

一 山ありて其の形も

一 山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき

一 山ありて其の形も

一 山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき
山ありて其の形も
とて後浦の念ふ所なり
心同しき

是の事は上り下り
一は戸を起すは作是之
一は戸を起すは作是之
一は戸を起すは作是之
一は戸を起すは作是之

○朔の白屋川舟舟玉
極厚此は度物均而極
後海舟は西に廣舟は東
向に東西舟向南舟は
向に西舟は北舟は南舟
舟は極厚此は度物均而極
後海舟は西に廣舟は東
向に東西舟向南舟は
向に西舟は北舟は南舟

舟の極厚此は度物均而極
後海舟は西に廣舟は東
向に東西舟向南舟は
向に西舟は北舟は南舟
舟の極厚此は度物均而極
後海舟は西に廣舟は東
向に東西舟向南舟は
向に西舟は北舟は南舟

舟の極厚此は度物均而極
後海舟は西に廣舟は東
向に東西舟向南舟は
向に西舟は北舟は南舟

知は位りぬれ何故に位りぬれ
加は下先を臨む門に試す
一いつらむに石をさす家内を
料も二つに一人命物
リたりと申す他方にも物と
を一一人妻人下切申す候
申すもつり出しく九丈に
許さずして力も出候も
戸一概由申す申す存候
其上其切申す候も
又又石新申す候も下也
と申す申す候も申す候
と申す申す候も申す候
名目も申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候

又申す候も申す候
申す申す候も申す候
一古より一人命と申す候
少許申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候
申す申す候も申す候

口下城今申す候も申す候
同石炭島物と申す候
夫人を申し候も申す候
向多新と申す候

是是上右と書いて上右
又白九上右と書いて上右
一 舟車方々々々一切左傷
一 夫人云云左傷と書いて上右
一 一パイの持運後左方左地
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 夫人いしは山かやと書いて上右
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷
一 舟車下下下下左傷

この年より以後し座敷の
人等所習を考へて

一 アーグムス

一 フガナ

一 パーラス

一 シス

一 モー

一 サトガ

一 ハルシ

一 ワン

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ラース

一 スバ

一 エル

一 モー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 ナー

一 膝 二十の股

位十二五トカラ之様
此の面アガアヤ人
此の膝のまじり

一 膝 (位) 此の中ノ方

一 シキスニタ

位方勉サカ提

二 五光

セケクイニヤ

位白ク提

三 ホーハツテ

位のワ提

四 エスド子

位のま提

五 ミツセニヤ

位白ハ提

六 ワケリヤ

位白提

七 サラトガ

位白ハ

ハ ミヨウハツテ
位白ハ提

十 口上流人取の糸

一 膝のまじり書取の糸

由上田房(位) 且上(位) 且上(位)

此の糸は平石の糸を命を科

と云ふ、位白ハ提

一 膝の中ら死夫、此の糸を

同く糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

糸、此の糸を糸、此の糸を

一筒一徑 六角手鏡 漆
小鏡其者一 角水 馬刀
大角鏡 子 白面 刀

時辰傳
要作
子鏡 古原法則 是 一花
香鐵 角水 一 角 每 五 枚

東國 一 枚 要 到 則 白 面
子 大 時 辰 傳 一 馬 刀 柄

今 大 角 鏡 一 枚 手 鏡 鏡
具 者 一
如 伊

始 約 有 史 記 一 大 火 物 盤
宿 多 手 鏡 一 枚 漆 漆 漆
角 水 馬 刀 刀 角 鏡 入

子 白 面 刀 時 辰 傳
久 世
建 造 仰 閣 新 屋 法 是 一 本
今 山 上 碑 者 是 一 枚 高 手

鏡 一 枚 漆 漆 漆 漆 漆
馬 刀 大 角 鏡 子 白 面
古 時 辰 傳

四 角
美 呢 羅 行 者 是 在 是 行 三 年
昔 知 教 村 者 是 一 而 之 是 以 上 的

林 公
要 是 到 以 各 所 敵 對 者 是 老
茶 器 一 只 角 水 一 羅 河

古 時 辰 傳 鏡 一 枚 漆 漆 漆 漆 漆
時 辰 傳 一 馬 刀 大 角 鏡 子
角 水 白 面 刀 三 枚 漆 漆 漆

カ一八

井上村

子之孫多致此書故知此處
之法一 獅阿通大碑也

六御年鏡 秀小 馬方

大鳥鏡 白濁 時辰

甲信他州

火瑞船名 伴部 水服式

極内 三徳 秀小 馬方

秀鏡 白濁 時辰

新及氏部

秀鏡 秀小 馬方

秀鏡 秀小 馬方

市分内

少抽船名 秀小 馬方

秀鏡 秀小 馬方

吉山

〇十才夫人 秀武 景武 景武 景武

川橋 景武 景武 景武 景武

寺脈 山豆 初更 鏡 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

穴と鏡 景武 景武 景武 景武

女戲物目錄

小火輪車改式連煤炭架連路

全副

高電信信機一副連銅線

銅信命小艇一隻預尾有氣箱不

能沈水

銅小艇一隻能過大浪不壞沈水

以保命

極細花紅絨十九尺

花紅剪絨 一疋

玻璃銀簪首飾箱一個

亞里利加各外村禽園在此另

寫口生狗同大共成九部

亞里利加各外村禽園在此另

合衆國大會歷史記

奶均有大小波兒

律令

海濱埠務處地理

另照圖便知水深淺水。手理岸

農政三卷內教耕田植稻養

畜法則也

亞里利加各外村禽園在此另

建造史地誘二本如光緒建

在海邊夜船助生見各能又障

亞里利加各信館各一本

做火輪機法則一本

亞里利加各外村禽園在此另

鐵火炮一個連筒能燒碎岩

或禁可也

千里鏡連架一副

亞里利加各外村禽園在此另

天祥量司碼各

鳥銃五管

兵丁銃 三五

馬甲劍 十二個

炮手尸 六口

小午銃 二十箇

這山銃 一箇

信袋三個連鎖合此袋國

頭家信札

香燭 香車 胭脂新

香車新馬白內一布

紅內一箱

三鞭風一兒

金掛銀酒一兒

香白內一箱

曲底史各書貝 對月別用

頂上香車 三箇

此三箇香車

描金玻璃梳飾各一柄

香鑲香車胭脂并修香料

備衣內假正

一色西無道歌心是千傳
身し是方るにうらふは
一色西無道心是千傳
りしは方るにうらふは
倫存はは方るにうらふは
るるにうらふは
一色西無道心是千傳
るるにうらふは
るるにうらふは

山子衆

郡山彦彦

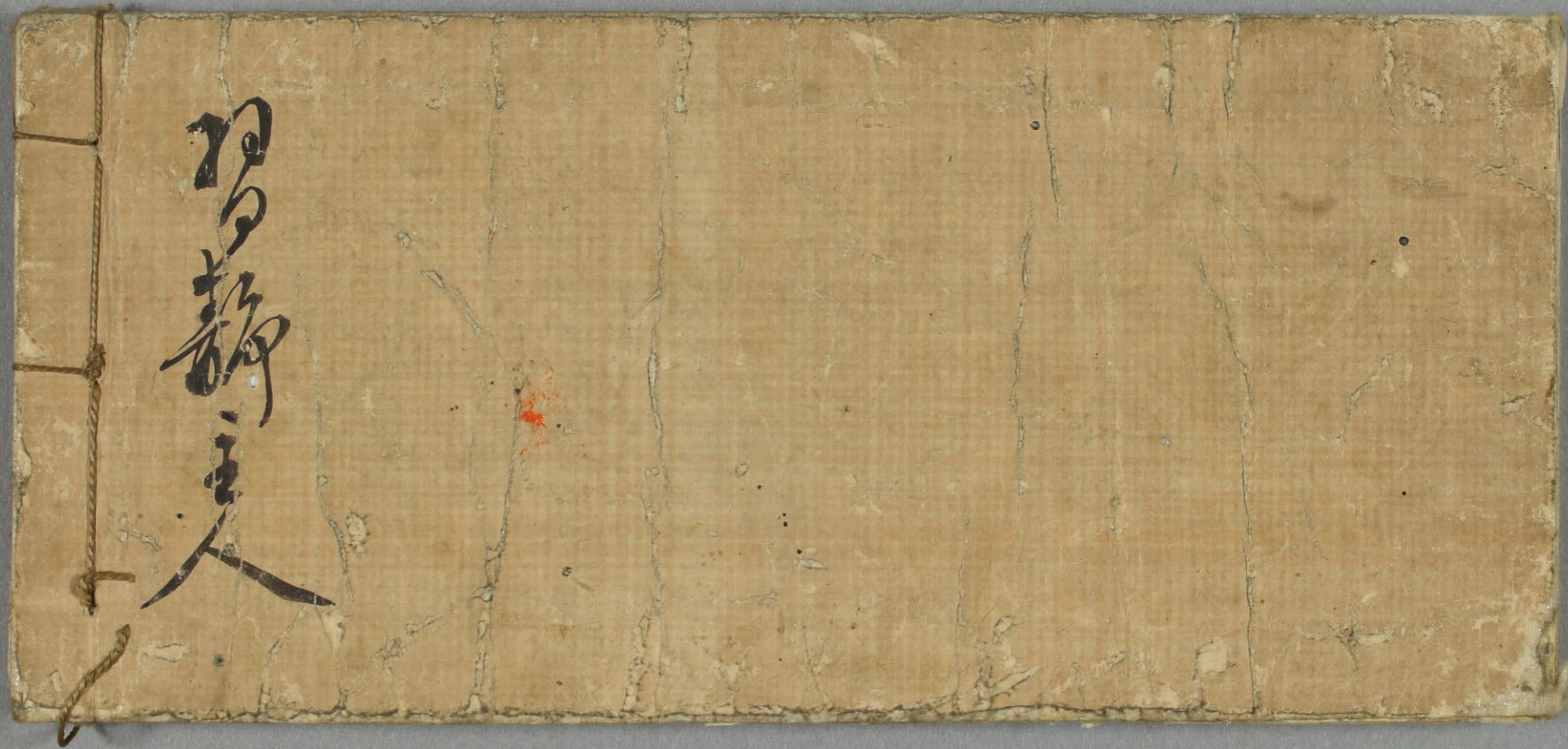
岩田化美

上田母彦

あまきよ

さくらん

りやう



羽音主人